

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	大阪河内長野線(南余部・北野田地区)				シート番号	019-049
担当部署名	建設	局	道路	部	道路計画	課 評価責任者(課長名) 柿本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	有
	2	事業開始年度	平成 18 年度		終了(予定)年度	令和 2 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	都市計画法、道路法			
	4	関連計画	堺市都市計画道路整備プログラム、堺市都市計画マスタープラン、堺市地域防災計画、震災に強いまちづくり基本計画、堺市緑の基本計画			
5	事業実施の経緯	府道大阪狭山線では、慢性的な交通渋滞が発生し、渋滞緩和と歩行者の安全性の確保等が課題となっており、幹線道路の整備が急務である。また、地域の防災上の避難路として、安全・防災に関する機能を果たすものであり、早期の整備が必要である。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	道路利用者・災害時における避難者・被災者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	府道大阪狭山線のバイパス道路として、交通分散を図り、渋滞緩和に寄与する。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	都市計画決定: 昭和45年8月17日 事業認可: 平成25年2月15日~令和3年3月31日 事業区間: 美原区南余部~東区北野田 路線延長: L=500m 道路幅員: W=35m 車線数: 4車線 橋梁 1橋(橋長23.4m) 令和元年度は、道路築造工事を実施 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
10	直接実施以外の主な支出先	工事の受注者				

Ⅲ. 投入量

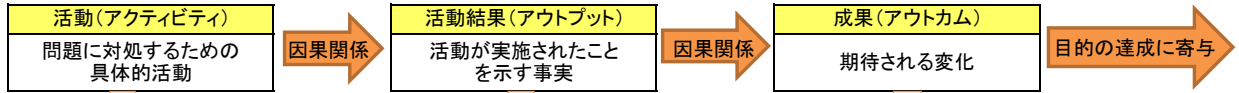
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	309,075	130,483	282,944	151,293	218,941	172,140	45,565	
主な事業費内訳	工事費	千円	261,115	91,131	215,000	127,099	208,491	169,766	45,000
	用地費	千円	44,000	38,153	64,000	9,991	5,900	0	
	委託費他	千円	3,960	1,199	3,944	14,203	4,550	2,374	565
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円	136,683	56,383	142,450	67,023	69,470	69,470	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円	152,500	50,200	126,300	68,700	122,700	88,400	40,500
	その他(財産売払い収入等)	千円		18,740			5,900		
一般財源	千円	19,892	5,160	14,194	15,570	20,871	14,270	5,065	
12 人件費 (b)	千円	11,766	11,766	9,306	9,046	9,536	8,726	6,111	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	320,841	142,249	292,250	160,339	228,477	180,866	51,676	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	大阪河内長野線(南余部・北野田地区)	シート番号	019-049
-------	--------------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動実績や成果

令和元年度実績						
14	[事業進捗] (工事進捗状況) ○道路築造工事の実施。	平成24年度に事業認可取得した大阪河内長野線(南余部・北野田地区)事業について、令和元年度は道路築造工事等を実施し事業を推進した。				
		定性的な目標				
		15 道路工事の実施				
目標に対する実績		道路築造工事を実施し、令和2年度に事業完了予定。				
16	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値					
	実績値					
	達成率					
	評価					

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		○本事業は平成24年度～令和2年度に掛けて推進しており、工事延長L=500m、幅員W=35m区間の用地取得をはじめ一部区間においては橋梁新設工事などを含む大規模な道路事業である。長期にわたり地権者、地元、河川管理者並びに関係機関等との協議調整を鋭意行っており、令和元年度は供用開始に向けた道路工事を予定通り実施することができた。これら過年度からの実績もあり令和2年度の全線供用開始に至ることになる。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	大阪河内長野線(南余部・北野田地区)	シート番号	019-049
-------	--------------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。また、本路線は事業に着手しており、都市計画道路整備プログラムにおいて引き続き事業を推進する路線の一つとして位置付けられており、令和2年度に事業の完了を予定している。本事業は市域全体の結びつきや広域的な連携を強化することで、道路ネットワークを通して市域全体の活性化を図ることができ、事業が終盤を迎える現時点での廃止は不可能である。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。また、本路線は事業に着手しており、都市計画道路整備プログラムにおいて引き続き事業を推進する路線の一つとして位置付けられており、令和2年度に事業の完了を予定している。本事業は市域全体の結びつきや広域的な連携を強化することで、道路ネットワークを通して市域全体の活性化を図ることができ、事業が終盤を迎える現時点での休止は不可能である。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。また、本路線は事業に着手しており、都市計画道路整備プログラムにおいて引き続き事業を推進する路線の一つとして位置付けられており、令和2年度に事業の完了を予定している。本事業は市域全体の結びつきや広域的な連携を強化することで、道路ネットワークを通して市域全体の活性化を図ることができ、事業が終盤を迎える現時点での廃止は不可能である。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (自転車環境整備課) 関連事業名 (自転車通行環境整備事業) ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 ③他部と密に連携し、自転車レーン整備のタイミングにあわせることで経費の節減を図っている。 ④財源に国交省からの交付金を充当している。 ⑤都市計画道路整備プログラムに基づき整備しており、サービス水準は同程度である。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
	所見	令和2年度夏頃の供用開始を予定しており、今年度末で事業は完了する。来年度以降は本線及び周辺道路の安全対策工事の追加が見込まれるが全体事業費としては縮小傾向になる。			